



浦和事務所外観

- 本社所在地：埼玉県加須市
- 事業概要：主に一般貨物運送、各センターにて荷受け出荷作業から、コンビニエンスストア店舗への配送業務。およびコンビニエンスストア、飲食店の店舗経営。
- 常時使用する従業員：666名
(2026年6月時点)
- 現在の売上高：36億円
(2025年7月期)
- 法人番号：7030001033163
- Web： <https://tsukasa-f.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
春山 貴由輝

継往開来

社会インフラの一役を担う企業として、あらゆる環境の変化に対応するべく設備投資・コンプライアンス・人材育成に力を入れ、さらに持続可能な健康経営や環境問題へ取り組み、お客様・企業様に信頼され選ばれる企業、従業員の皆様が安心して働いていただける会社を目指し努めてまいります。
これまで築き上げてきた伝統を大切に受け継ぎながら、時代に即した新たな付加価値を与え、次世代への未来を切り開く（継往開来）の精神のもと、売上高100億円の実現へ突き進んでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

運輸業を中心とした垂直型・水平型M&Aを基軸とし、HD化したのち、2034年での売上高100億円達成を目指す。



課題

○今後のM&Aに伴う経営統合を円滑に進めるため、ガバナンスおよび組織体制の構築が不可欠である。
○各社に分散する総務、財務、人事などの間接部門を一元化し、業務の標準化とDXを推進するシェアードサービス化を図る。これにあたっては、専門部署の新設、あるいは子会社としての独立（法人化）を検討する必要がある。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成に向けては、サプライチェーンを上下に拡張する垂直型M&Aと、商圏拡大を図る水平型M&Aの2軸を成長の核とする。あわせて、これらを結ぶ中継デポ等を新設することで、強固な成長基盤を構築する。これにより、物流の上流から下流に至るサプライチェーンを一元管理し、運行効率の最大化と労働環境改善を両立させる。また、規模拡大に伴いホールディングス体制へ移行。意思決定の迅速化と事業リスクの遮断・分散を実現する。同時に、各子会社の主要ポストを実戦の場として活用し、次世代を担う経営幹部の育成にも注力する。

実施体制

○経営陣の意思決定に基づく推進機関として、M&A・PMIの推進及び情報を統制する「M&A推進部（仮称）」を組織し、交渉段階における弁護士や会計士との連携や、買収後の「最初の100日間」の統括を行う。また、対外的な情報開示基準の策定や、組織変更に関連する法務担当窓口の整備を行う。
○最高物流責任者を配置し、営業所間のドライバー兼務手続き、Gマーク維持管理、点呼簿・乗務記録の適正共有、遠隔点呼体制の構築を一元管理する。また、事業者間や荷主、行政との持続可能な物流体制の共同設計を推進する。